

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 鹿児島聾学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・④・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	小学部6年生7人, 中学部生6人, 高等部生12人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックを題材として、スポーツの価値、国際・異文化、共生社会へ理解を深めるとともに、規範意識を養うようにする。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業でのオリンピックの歴史について学習。 ・高等部生徒が聖火ランナーとして参加。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業講演会の実施。</p> <p>(講師：リオデジャネイロパラリンピック車いすテニス日本代表 二條実穂さん)</p> <div style="text-align: center;">  </div>

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピックの歴史を学び、その理念を理解することができた。 • 聖火ランナーとして参加することで様々な人とふれあい、オリンピック・パラリンピックの成功に寄与することができた。 • オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業講演会に参加し、トップアスリートの考え方や挑戦すること、好きなことを続ける大切さを学ぶことができた。
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>パラリンピック出場選手を講師とすることで、聴覚障害のある本校児童生徒に、障害があってもなくてもそれが夢の実現には関係がないことを理解できる場となるよう工夫した。</p>
8主な課題等	<p>講師の講演内容が著作権に抵触するため、事前に講演内容の資料をいただけなかった。聴覚障害の方への情報保障として手話通訳者は事前に内容を把握することは必須である。通訳者へ講演内容の資料を事前に渡すことができず、大変申し訳なかった。難しい問題ですが、聴覚障害のある方への情報保障の重要性について配慮していただきたかった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>スポーツを学ぶ上で、オリンピック・パラリンピックについて触れることは重要であり、今回のオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業で得た成果を、今後も保健体育の授業や総合的な学習の時間等を使って、教師と児童生徒共に学び直し生涯スポーツへ発展させていきたい。</p>